

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成 27 年 9 月 14 日		
所属学部・研究科	教育学部/研究科	3 年次 (留学開始時点)		
留学先大学	チュービンゲン大学 (国名: ドイツ)			
所属学部・学科等名				
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 26 年 9 月 8 日 ~ 平成 27 年 7 月 30 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ			
	ビザ申請先: 現地の外国人局			
	取得方法, 提出書類: 親の経済負担誓約書を在日独国大使館または領事館で取得してから渡航→申込用紙、先述の書類などを提出し、約 1 か月後にビザが交付される。			
	手続きに要した日数: 約 1 か月			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 26 年 9 月 8 日			
経路	広島→北京→Frankfurt→Stuttgart			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	現地の語学コースを留学前に申し込めば、2 週間から 1 か月の語学コースに参加し、入国に関する必要な手続きなど、一緒にやってくれる。			
帰国年月日	平成 27 年 7 月 30 日			
経路	Frankfurt→Moscow→成田→広島			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	1350,830	円	
	内訳	渡航費	150,000	円
		保険料	125,830	円
		教科書代(学費)	15,000	円
		宿舍費	440,000	円
		食費	220,000	円
		その他 (旅費)	400,000	円
(費)		円		
(費)		円		
3. 授業について				
2014 年 冬学期	10 月 22 日	~	2 月 12 日	

2015年 春学期	4月 13日 ~	7月 24日
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	留学生のための語学の授業と一般の授業を並行して履修できる。	
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること	
学術面に関する後輩へのアドバイス	ほかの外国人に負けない勢いで積極的に授業に参加する。	
4. 生活等について		
(1) 留学先の住居について		
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居の広さ	約 m ²	同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (4人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居費	1ヶ月当たり 287 ユーロ (現地通貨)	約 40,000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()	
留学先での住居全般に関するアドバイス		
(2) 医療について		
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった	
入院した場合	<input type="checkbox"/> により <input type="checkbox"/> 日入院	
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった	
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()	
掛け金は	年間 125830 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()	
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名		
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)		

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	適度な運動	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
寮には自分の部屋はあるが、キッチンやトイレ、バスは何人かで共用なので、うまくコミュニケーションをとる必要がある。最初にそのフラットのルールを聞いておくとよい。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 28年 3月 (当初の卒業予定年月 平成 27年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他 (具体的に 教育実習のため)	
現在の状況および今後の予定・進路等	英語の教員志望	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	教員免許取得希望者は卒業が1年延びることを前提に事前の単位取得、留学をすること。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
留学以前に現地の言語をできるだけ身につけておくこと! 友達作りや授業参加に苦労することになりますよ。あと使えるコネはすべて使いましょう。ドイツに留学したことのある先輩や現地にいる知り合いなどがいる友達がいれば迷わず声をかけてみること!		

学習の概要に関するレポート

私はドイツ、チュービンゲン大学に約1年間留学していました。チュービンゲン大学では各長期休暇の間に留学生用の語学コースが準備されており、大学で実際に授業を受ける前にそのコースを受講することができます。私は、**START KURS** というコースを2週間受けました。その中でまず語学レベル別にクラス分けされ、それぞれのレベルに合った授業を受けることができます。また語学の授業だけでなく、ドイツで生活していく上で必要な手続きや大学での手続きなど様々な面でサポートしてくれました。

実際に最初のセメスターが始まってからは、私はまだ語学力が足りなかったため、語学の授業を中心にとっていきました。チュービンゲン大学ではセメスター中でも、留学生のための語学の授業があり、その種類も豊富です。自分が伸ばしたい能力を集中的に取り扱う授業や総合的に学習する授業もあるため、その時の自分に適した授業をとることができます。私は4技能すべてを総合的に取り扱う **Aufbau Kurs** という授業を受講しました。週3回、各授業3時間と授業が行われるので語学の授業を集中的にとりたいという人にはオススメの授業です。

また授業とは別にタンデムパートナーというプログラムも活用しました。広島大学でいう会話パートナーにあたるプログラムで、語学パートナーを作って、お互い母国語話者として自分の母語を相手に教えあうというものです。チュービンゲン大学には日本語学科があるので、日本人のタンデムパートナーを探しているドイツ人はたくさんいます。私も日本語学科の学生とタンデムパートナーになり、週1で毎回2時間くらい語学交流を行っていました。

次のセメスターでは、語学の授業をとりつつ現地の授業も同時に受けていました。自分の専攻の授業や日本語学科の授業を中心にとりました。自分の専攻の授業ではいくら語学の授業で学習しても出てこないような専門用語がたくさん出るため、予習をしっかりと理解するのは困難でした。日本語学科の授業では、今まで見たことのない新しい視点から日本語を学習できて非常に興味深かった。授業中にドイツ人学生から直接質問されたり、先生から事実確認をされたりするため、日本に関する理解を深めることもできる。また授業外でもその授業に参加しているドイツ人学生に授業の理解を深めたりもしました。

初めての海外での授業で不安なことが少なくありませんでしたが、大学からの手厚いサポートがたくさんあったため、順調に学習することができました。またタンデムパートナーにも授業で分からなかったところを聞いたりできるため、そのようにタンデムパートナーを活用することもできます。



チュービンゲン大学の最も大きい校舎



チュービンゲン大学の考古学部

生活の概要に関するレポート

ドイツのチュービンゲンで約1年間暮らして、生活で留意すべき点を何点かに分けて説明していきたいと思います。

まず、チュービンゲンは比較的小さく学生街です。治安は学生が多いためか比較的にいいです。もちろん油断は禁物ですが。交通に関しては、チュービンゲンの街の中ではバス移動が主流です。学生のほとんどがバスで移動し、キャンパス間の移動もバスで行っています。街の間を移動する時は、電車を使います。チュービンゲンの街の中には、大きなショッピングモールやデパートはないので、日用品以外のものの買い物をするときには他の大きな街に行かないといけません。チュービンゲンのあるバーデン・ヴュルテンベルク州の州都であるシュトゥットガルトや隣街のロイトリンゲンに行くことになります。

学生の多くは学生寮に住んでおり、学生寮は街のいたるところに点在しています。住む寮によって利便性は異なりますが、私が住んだ寮は街の端に立っていて、寮の周りにはスーパーが徒歩10分圏内にあるだけで、レストランはほとんどありませんでした。街で最も大きいスーパーは街の反対である南側にあり、そこでは比較的安く買い物をすることができます。大学はバスで10分くらいであったため、通学には困りませんでした。

続いて寮の中の生活を紹介します。どの寮に住むかによって、タイプが異なりますが、私の寮は5人でキッチン、トイレ、バスが共同でそれぞれ個人の部屋があるタイプでした。私のフラットメイトは4人ともドイツ人でコミュニケーションはドイツ語のみでした。フラットで掃除当番があって、5人で交代しながら共用スペースを掃除していました。ドイツ人の多くは基本的には寮の中ではプライベートな時間を過ごすため、必要最低限のコミュニケーションしかとりません。食事と一緒に食べることはほとんどなく、それぞれの部屋で食事をとっていました。しかしコミュニケーションを取ろうとこちらからアプローチを図れば、きちんと対応してくれるため、関わるのが嫌というわけではないみたいです。

チュービンゲンには、日本の中学校や高校に相当する教育機関であるギムナジウムがいくつかあり、交渉次第でその授業を見学することができます。私はあるギムナジウムの日本語クラブにボランティアとして参加したり、英語の授業を見学したりしました。大学の日本語学科の先生に頼めば、日本語クラブの先生とのコネクションを手に入れることもでき、またそこからほかの科目の授業を見るように頼むこともできます。ほかの国の教育機関を見ることは滅多にできることはないのととても勉強になりました。



寮の自分の部屋



寮の景観